



地域・在宅看護論の授業で認知症の方が住み慣れた地域で人生の最期まで暮らし続けられるように実施している地域活動のひとつである

認知症サポーター養成講座を受講しました。





講座では、認知症についての講義と軽度認知症の方が体調を崩し、急に入院した事例を用いて、退院前のカンファレンスをグループワークで話し合いました。「その人らしい生活」を学んだ学生は、入院中の患者さんの希望する自宅での生活をどのように整えたら良いか考え、発表することができました。



清水町のキャラバンメイトの皆さん、ありがとうございました。

